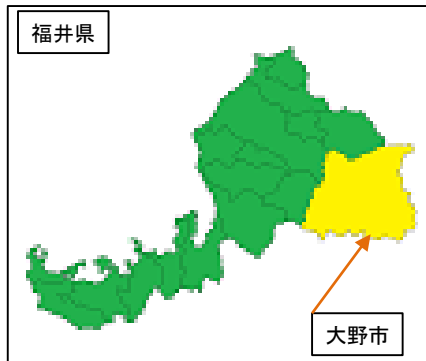


松丸中山間地域振興協議会（福井県大野市）

- 後継者となる若者の雇用による将来の営農活動を担う人材育成と、寒暖差の大きい立地を活かした棚田米生産や里芋・ネギなどの新規作物導入による所得の確保。

協定面積: 田 27.3ha(急傾斜: 23.2ha・緩傾斜: 4.1ha) 交付金額: 520万円
 協定参加者: 農業者34名、農業法人1、農業者以外5名 協定開始: 平成12年度



地域の現状

- 当協定は、豪雪地帯である大野市の北西部、一級河川の九頭竜川沿いに位置し、協定農用地の8割以上が急傾斜。
- 草刈りや営農活動の条件が非常に厳しく、集落の高齢化と後継者になる担い手不足が深刻であるため、平成12年度から本制度に取り組み、集落全体が支え合って営農活動を推進。
- 急傾斜の棚田地形で長大法面が多数存在しているため、農地の維持・管理の省力化に向け、今年度ラジコン草刈り機等の導入検討のため、メーカーによる実演会を実施。



【協定農用地】



【ラジコン草刈り実演会】

取組の概要

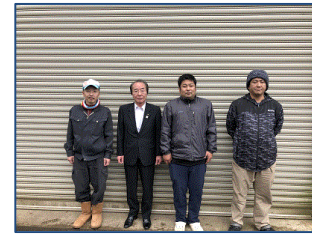
- 協定農用地の9割近くを担い手へ集積し、効率的な生産体制を確立。
- 棚田と寒暖差の大きい立地を活かした「阪谷棚田米(さかたにたなだまい)」生産と、今年度ネギの皮むき等の作業施設を整備し、里芋やネギを生産。
- 集落の農産物集荷・販売を行う「(一財)越前おおの農林楽舎」が窓口となり、京都市内の小学校の稲刈り体験を受入れ。
- 農の雇用事業を活用し、後継者となる若手3名を雇用し、将来の営農活動を担う人材を育成。
- 第5期対策では、周辺集落と広域化して農地を守っていくことを計画。(周辺集落と令和元年夏から話し合い)



【作業施設】



【稲刈り体験】



【代表と新規就農者】